

休みの日はよくグラウンドで走っていましたが、こどもたちが声をかけてくれて、一緒に鬼ごっこをすることもありました。「楽しいな～」と思いながら、「受診していた風邪症状良くなっているね。怪我して処置したところも大丈夫そうだね。」とこっそりと症状のフォローもしていました。予防接種を嫌がって逃げ回っていた子が翌年に「痛くないよ、平気だよ。」と話していたり、生後2ヶ月で初めての予防接種をした小さな赤ちゃんが1年後には歩いていたり、子供たちの成長を感じることができたのもとても幸せでした。学校の先生方と連携をして子供たちの健康問題に取り組んだり、運動会や学習発表会などで子供たちの頑張りを見ることもできたのも、とても良い思い出です。

未熟で至らない点も多い私でしたが、それでも皆さまに頼ってもらい、「どうにか期待に応えたい！」という気持ちで頑張ることができました。そして、地域の皆さまと島で一緒に生活をしながらお仕事をすることで、大きな病院では学べない多くのことを経験させて頂きました。医療以外の多職種の皆さまと協力することや、病気の知識だけでなく患者さんの普段の生活や価値観のことを具体的に考えて治療することなど、粟国島での2年間で大切なことを教えてもらいました。

また、妻と一緒に粟国島に赴任してきましたが、夫婦ともども受け入れてもらい、良くしてくださり、本当にありがとうございました。診療所医師生活のことだけでなく、私達の人生においても素敵な思い出、大きな財産になりました。

正直、粟国島を離れるのはとてもさみしいです。しかし、さみしさに負けず、次の職場でも患者さんのために一生懸命頑張りたいと思います。その時には、粟国島で経験した学びや思い出が背中を押してくれ、大きな力になると思います。

大好きな粟国島の皆さまが、健康に過ごせるようにいつもお祈りしています。改めまして、関わってくださった島民の皆さま、一緒に連携してお仕事をして下さった皆さま、2年間本当にありがとうございました。またお会いできる日を楽しみにしています。

玉城看護師から

2年間お世話になりました

2022年4月から2年間、粟国診療所で大変お世話になりました。

私自身、これまで診療所の経験が無く、離島勤務も初めてでしたので、赴任した時は戸惑いばかりでしたが、島の皆様や行政の方々、社会福祉協議会、特別養護老人ホームさんなどに沢山、助けて頂き、診療所と地域との繋がりを少しずつ学ばせて頂きました。

診療所での楽しい会話や、往診で見せてくれたリラックスした笑顔、ホームでの入居者さんの人間性、ディサービスでの笑い声、毎日が新鮮で貴重な時間を過ごす事が出来ました。

診療所では内服薬の指導等を、もう少し時間をかけて提供したかったのですが、なかなか出来ず申し訳なかったと思います。又、地域の行事や清掃活動などへの参加も出来ないまま転勤となり心残りも有りますが、粟国島で過ごした温かい思い出を大切に又、頑張っていきたいと思います。

皆様から沢山の笑顔を頂き、感謝いっぱいの2年間でした。本当に有難うございました。

